

## 算数オンライン塾 12月25日の問題解説

---

(1) Aは一番短く、1周で8時間で目盛りが8つありますから、1目盛り1時間です。Bは1周3時間で目盛りが3つですから、これも1目盛り1時間です。Cは1周1時間です。Cが0を表していますから、正時(分がない)で、8で割ると6あまり、3で割ると1あまる数で、24時以内ですから、22時です。

(答え) 22時

(2) Aは1時間に $45^\circ$ 進み、Bは1時間に $120^\circ$ 進みます。  
したがって $75^\circ$ の差が $360^\circ$ になるので、 $360 \div 75 = 4.8$ 時間 = 4時間48分ごとにAとBは重なります。Cが30~37.5分のところにいるので、  
4時間48分 9時間36分 14時24分 24時ですから10時36分です。

(答え) 9時36分

(3) Aは1分に $0.75^\circ$ 動き、Bは1分に $2^\circ$ 、Cは1分に $6^\circ$ 動きます。  
Aの目盛りから3時から4時の間、11時から12時の間、19時~20時の間の3つになり、Bの目盛りから19時から20時の間になります。  
19時にAは時計回りに0から $135^\circ$ の位置、Bは $120^\circ$ の位置、Cは $0^\circ$ の位置にいます。【1】分後にCは【6】 $^\circ$ の位置にあり、Bは $120 +$ 【2】、Aは $135 +$ 【0.75】の位置にいるので、BとCの差は【4】 $-120$ 、AとBの差は【1.25】 $-15$ です  
ですから【4】 $-120 =$ 【1.25】 $-15$  【2.75】 $=105$  【1】 $=38\frac{2}{11}$

(答え) 19時 $38\frac{2}{11}$ 分